

Controller GMSK ver 06B Jun 2024 用 HTML テンプレート制作体験記

Shu JA3GQJ

Controller GMSK ver 06B Jun 2024 では「HTML/Video」タグ（下図）を使って Video を埋め込んだ HTML ファイルや、Java script 等を使ってロゴを移動させる HTML ファイルなどが送信できるので、それらの HTML テンプレートの制作に挑戦した。この体験を忘れないうちにメモして PDF ファイルにしておく。体験中に気付いたことを巻末にまとめる。



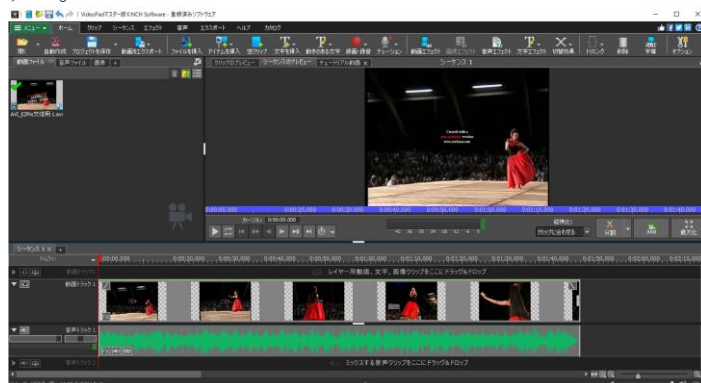
(Controller GMSK ver 06B Jun 2024 の「HTML/Video」タグ)

1. ビデオ埋め込み HTML テンプレートの作成

1-1 JA0AYH さんのテンプレート「eight_Rx_Slide」を参考にさせて頂いて中央部の静止画に変えて、ビデオを埋め込むものである。

埋め込むビデオのファイル容量を出来るだけ小さく（1280 x 720 に統一）する事、ファイル形式を Controller GMSK ver 06B Jun 2024 が扱う「mp4」にする事など作業は「VideoPad 動画編集ソフト」（下図）を円安（1ドル150円台）の折であったが、26米ドルを PayPal で支払って使用。

VideoPad 動画編集ソフト」は、暫くは無料であったが操作に慣れてきたころに登録して料金を支払わないと使用できなくなった。しかし、このソフトは私にとって、非常に使いやすい。

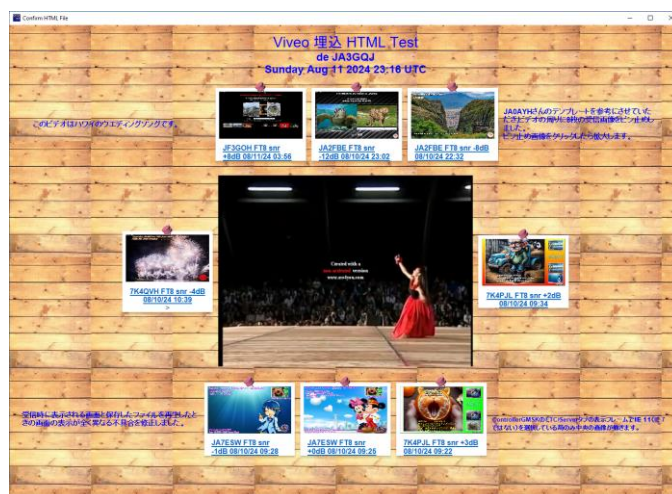


(VideoPad 動画編集ソフトの画面)

次のように HTML video タグを使ってビデオを埋め込む。

```
<video src="<MP4>" autoplay loop poster="<CHANGE_CALL>_video.jpg" controls  
  preload id="bgvid" ><source src="<MP4>" type="video/mp4">  
</video>
```

- ・このコードの赤文字は Controller GMSK ver 06B Jun 2024 に用意されているマクロである。
- ・この video タグコードで「controls」属性を付けないと HTML ファイル受信時は OK でも C:/Controller_EasySimple/RXHTML に保存したファイルは再生出来なかった。



(ビデオを埋め込んだ画面)

- 1-2 JA0AYH さんのテンプレート「001_MP4_1280x760_Mp3」を参考にさせて頂いてロゴを張り付けた。(下図)



(ロゴを張り付けた画面)

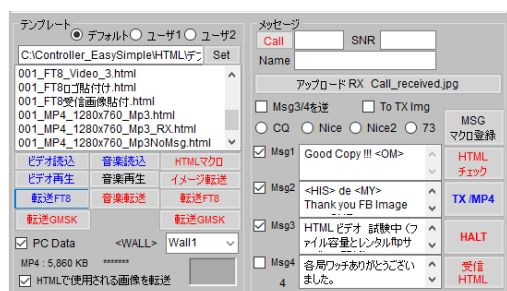
- 1-3 JA0AYH さんのテンプレート「001_MP4_1280x760_Mp3」を参考にさせて頂いて受信画像を張り付けた。(下図)



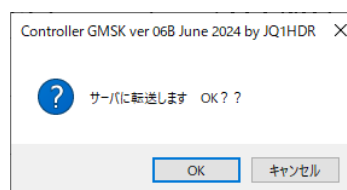
(受信画像を張り付けた画面)

埋め込むビデオの準備

「HTML/Video」タグの「ビデオ読込」ボタン(で目的のビデオを読み込む → 「転送 FT8」ボタン(図 1-B)をクリック → 図 2 のコメントで「OK」ボタンをクリック → 「転送 FT8」ボタンの文字が赤から青に変わる → ファイル名 JA3GQJ.mp4 で ftp サーバーに保存され、準備完了 → リストから目的のテンプレートを選ぶ → 「HTML マクロ」ボタンをクリック → ビデオ埋め込みの THML ファイル完成 → 「転送 FT8」ボタンクリック → 送信準備完了。



(図 1)



(図 2)

2. JavaScriptでロゴを移動させるHTMLテンプレートの作成

かなり前に受信した 7K4PJL さんの HTML のソースコードを参考にさせて頂き次のコード (赤字部分) で飛行機のロゴを左から右へ移動させる (右から左の設定も出来る)。

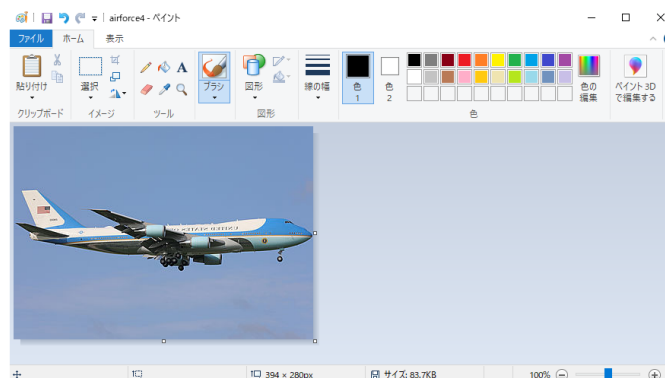
```
<script type="text/javascript">
<!--
/*****Slide show by 7K4PJL*****/
ugoku=new Array(); // この行は触らないで・・
/***** 入力事項 *****/
//===== 入力1 : 画像の種類と流れる方向,流れ方,および範囲
// 1番目の数字で画像の動く方向を指定する。
// 0:左→右 1:右→左 2:上→下 3:下→上
// 2~3番目の数字で表示範囲の画面「上」・「左」からの各距離(pix)を入力
// 4~5番目の数字で「表示幅」と「表示高さ」(pix)を入力
// 「0」の場合はそれぞれ、画面右端まで、下端まで表示する。
// 6番目の数字で、移動の方向の最大速さを入力 (大きい程速い 初期値 30)
// 7番目の数字で、揺れの方向の最大幅をピクセル値で入力 (初期値 30)
// 8番目の数字で、揺れの方向の最大速さを入力 (大きい程,早く荒い 初期値 10)
// 9番目以降で、出したい画像の種類を、0から順に必要な数だけ入力
// 画像が2つ以上あるときは、流れ出す度に、画像が変わる。
ugoku[0]=new
Array(0,-450,0,0,0,50,200,5,"http://radiotk.html.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/plane/airforce1.png");
```



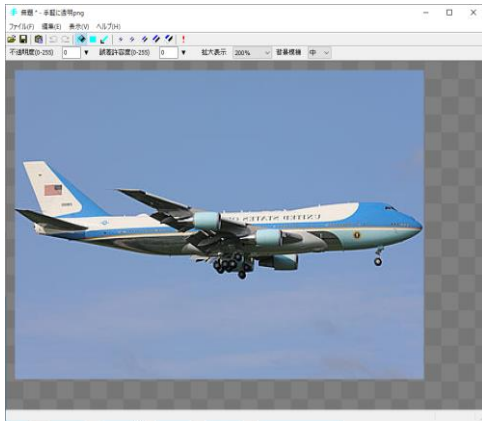
(飛行機をロゴにした画面)

2-1 インターネットの無料の飛行機の画像をロゴにする

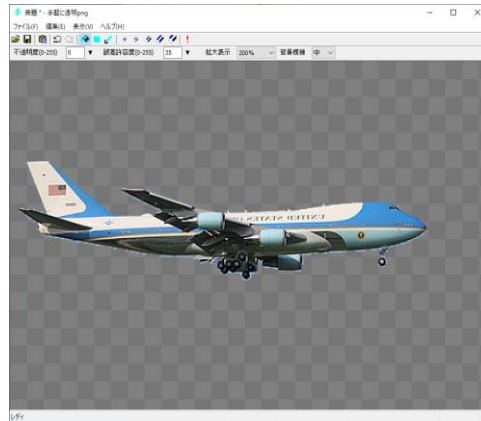
ダウンロードしたファイルを Windows の「ペイント」で開く (図2) →被写体を幅一杯に選択して切り取る → 「手軽に透明」に張り付けて (図3) 背景を透明にする (図4)。



(図2)

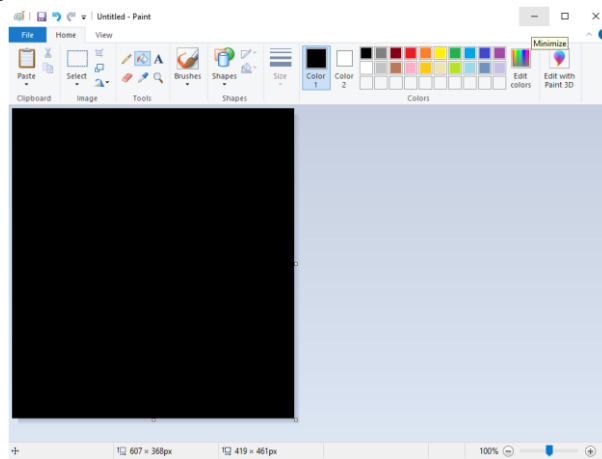


(図 3)

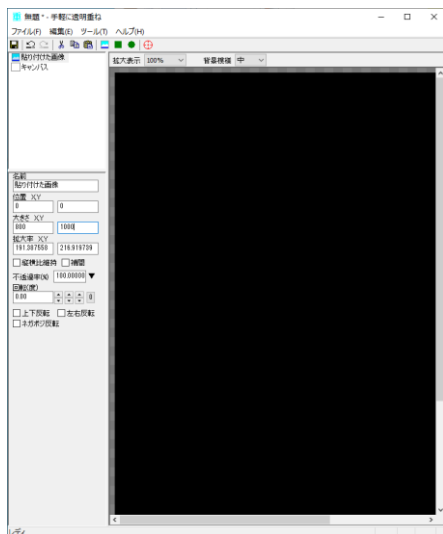


(図 4)

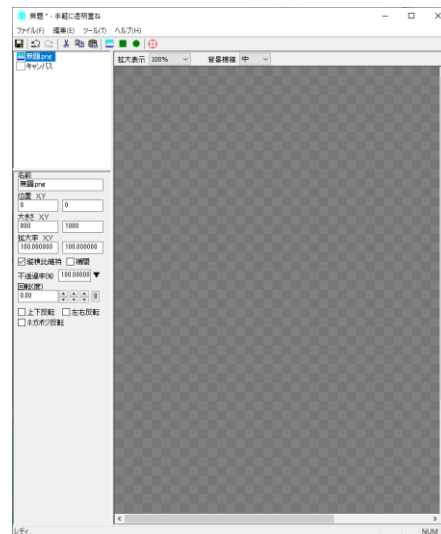
→別途、Windows10 の「ペイント」で dummy 画像を作る (図 5) →その dummy を切り取って「手軽に透明重ね」に取り込む→ サイズを幅 800pix、高さ 1000pix に調整 (図 6) → 名前を付けて保存→「手軽に透明」で透明にする (図 7) →名前を付けて png で保存して dummy にする。→



(図 5)



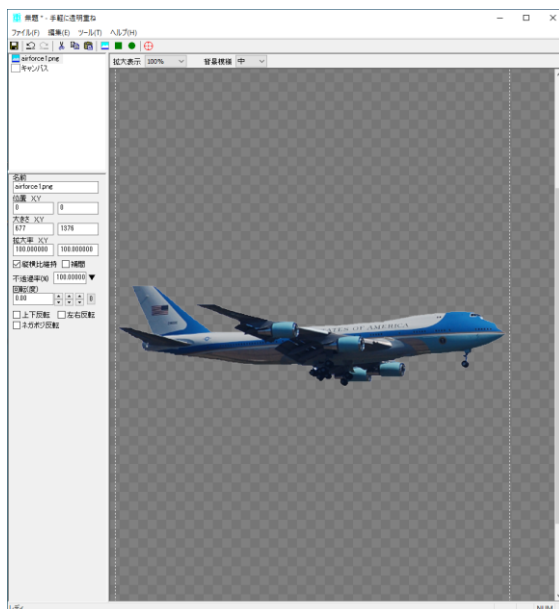
(図 6)



(図 7)

ここで、先に作成した背景透明の飛行機の画像と dummy の透明の画像を「手軽に透明重ね」に取り込む。→ マウスで飛行機の画像を移動しながら飛行機の画像が高さ 1000pix の中央に来るように調整する (図 8) → ファイル名 airforce1 で保存する (ファイルは自動的に png になる)。

図 8 の破線は出来上がりの画像サイズ(800 x 1000)の枠線である。



(図 8)

バックグラウンドの画像は Controller GMSK ver 06B Jun 2024 の「TX」タグで静止画像を送信する要領で読み込む(図 9)→「画像転送」ボタンをクリックする → 「HTML/Video」タグで「PC data」にチェックマークを入れる → その上のリストからテンプレートを選択 → 「HTML マクロ」ボタンをクリックして HTML ファイルを生成する (図 10)。



(図 9)



(図 10)

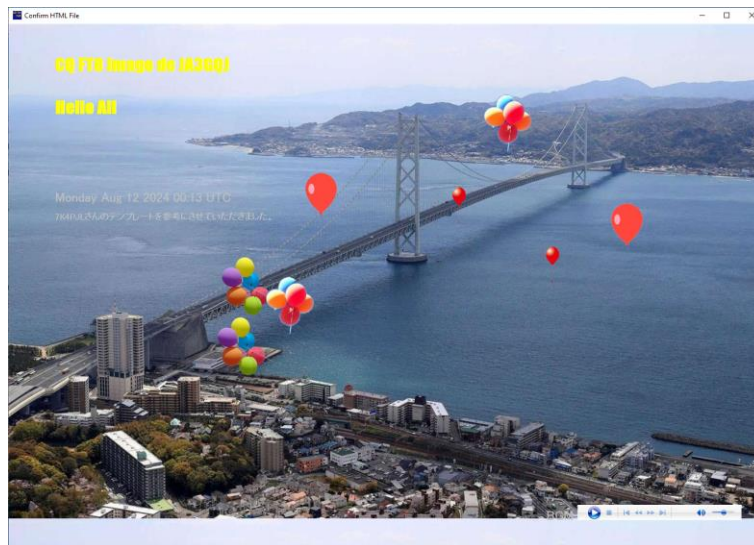
背景を透明にしないロゴを埋め込んだ HTML（この状態でロゴ画像が左から右に移動する）



(背景を透明にしないロゴを埋め込んだ画面)

2-2 インターネットの無料の風船の画像をロゴにする

何種類かの画像を「手軽に透明」で背景を透明にした画像を埋め込む



(風船の画像をロゴにした画面)

ftp サーバーにアップした画像 (fusen1.png、fusen2.png、fusen3.png、fusen4.png) を次のコード (赤文字部分) で風船を下から上へ移動させる。

```
<script type="text/javascript">
<!--
/*****Slide show by 7K4PJL*****/
ugoku=new Array0; // この行は触らないで・
/***** 入力事項 *****/
//===== 入力 1 : 画像の種類と流れる方向,流れ方,および範囲
//1 番目の数字で画像の動く方向を指定する。
//0:左→右 1:右→左 2:上→下 3:下→上
// 2～3 番目の数字で表示範囲の画面「上」・「左」からの各距離(pix)を入力
// 4～5 番目の数字で「表示幅」と「表示高さ」(pix)を入力
```

```
// 「 0 」 の場合はそれぞれ、画面右端まで、下端まで表示する。
// 6 番目の数字で、移動の方向の最大速さを入力（大きい程速い 初期値 30）
// 7 番目の数字で、揺れの方向の最大幅をピクセル値で入力（初期値 30）
// 8 番目の数字で、揺れの方向の最大速さを入力（大きい程,早く荒い 初期値 10）
// 9 番目以降で、出したい画像の種類を、0 から順に必要な数だけ入力
// 画像が 2 つ以上あるときは、流れ出す度に、画像が変わる。
```

```
ugoku[0]=new Array(0, -100,0, 0,0, 25, 200,3, "http://radiotkktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/fusen1.png");
ugoku[1]=new Array(3, -100,0, 0,0, 20, 150,3, "http://radiotkktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/fusen2.png");
ugoku[2]=new Array(3, -100,0, 0,0, 25, 200,3, "http://radiotkktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/fusen3.png");
ugoku[3]=new Array(1, -100,0, 0,0, 50, 100,5, "http://radiotkktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/fusen4.png");
```



fusen1.png、



fusen2.png、



fusen3.png、



fusen4.png

2-3 インターネットの無料の気球の画像をロゴにする
次のコード（赤文字部分）で気球を下から上へ移動させる。

```
<script type="text/javascript">
<!--
/*****Slide show by 7K4PJL*****/
ugoku=new Array0; // この行は触らないで・・
/***** 入力事項 *****/
// ===== 入力 1 : 画像の種類と流れる方向,流れ方,および範囲
// 1 番目の数字で画像の動く方向を指定する。
// 0:左→右 1:右→左 2:上→下 3:下→上
// 2 ~ 3 番目の数字で表示範囲の画面「上」・「左」からの各距離(pix)を入力
// 4 ~ 5 番目の数字で「表示幅」と「表示高さ」(pix)を入力
// 「 0 」の場合はそれぞれ、画面右端まで、下端まで表示する。
// 6 番目の数字で、移動の方向の最大速さを入力（大きい程速い 初期値 30）
// 7 番目の数字で、揺れの方向の最大幅をピクセル値で入力（初期値 30）
// 8 番目の数字で、揺れの方向の最大速さを入力（大きい程,早く荒い 初期値 10）
// 9 番目以降で、出したい画像の種類を、0 から順に必要な数だけ入力
// 画像が 2 つ以上あるときは、流れ出す度に、画像が変わる。
```

```
ugoku[0]=new Array(0, -100,0, 0,0, 25, 200,3, "http://radiotkktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/kikyuu1-1.png");
```

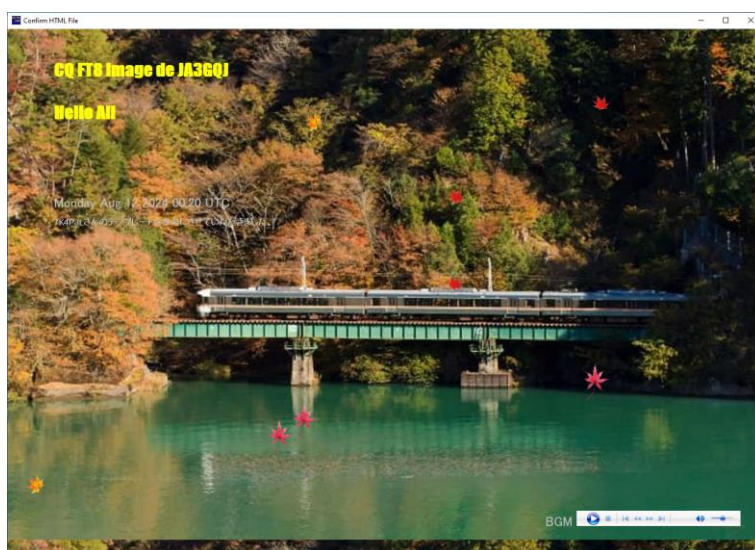


(気球の画像をロゴにした画面)

次の二つの画像（気球とコールサイン）を「手軽に透明重ね」で合成してファイル名 kikyul-1.png で ftp サーバーにアップしておく。



2-3 インターネットの無料の紅葉の画像をロゴにする
ダウンロードした画像の背景を「手軽に透明」で透明にしてファイル名 moiiji1.png 、
momiji2.png 、 momiji3.png で ftp サーバーにアップしておく。



(紅葉の画像をロゴにした画面)



HTML に次のコード（赤文字の部分）で紅葉を上から下へ移動させる。

```
<script type="text/javascript">
<!--
/*****Slide show by 7K4PJL*****/
ugoku=new Array(); // この行は触らないで・・・
/***** 入力事項 *****/
// ===== 入力 1 : 画像の種類と流れる方向,流れ方,および範囲
// 1 番目の数字で画像の動く方向を指定する。
// 0:左→右 1:右→左 2:上→下 3:下→上
// 2～3 番目の数字で表示範囲の画面「上」・「左」からの各距離 (pix)を入力
// 4～5 番目の数字で「表示幅」と「表示高さ」(pix)を入力
// 「0」の場合はそれぞれ、画面右端まで、下端まで表示する。
// 6 番目の数字で、移動の方向の最大速さを入力 (大きい程速い 初期値 30)
// 7 番目の数字で、揺れの方向の最大幅をピクセル値で入力 (初期値 30)
```

```
// 8番目の数字で、揺れの方向の最大速さを入力（大きい程,早く荒い 初期値 10）
// 9番目以降で、出したい画像の種類を、0から順に必要な数だけ入力
// 画像が2つ以上あるときは、流れ出す度に、画像が変わる。
```

```
ugoku[0]=new Array(2, -100,0, 0,0, 50, 100,5, "http://radiotktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/momiji1.png");
ugoku[1]=new Array(2, -100,0, 0,0, 50, 100,5, "http://radiotktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/momiji2.png");
ugoku[2]=new Array(2, -100,0, 0,0, 50, 100,5, "http://radiotktk.php.xdomain.jp/IMAGE/images_Z/momiji3.png");
```

3. CSSを使ったスライドショーHTMLテンプレートの作成

3-1. 3D-回転型スライドショー

インターネットで公開されている次のコードを利用する。

本サンプル表示用のHTML（赤文字は Controller GMSK ver 06B Jun 2024 に用意されたマクロに書き換え）

```
<div id="stage">
  <div id="photo1" class="photo"></div>
  <div id="photo2" class="photo"></div>
  <div id="photo3" class="photo"></div>
  <div id="photo4" class="photo"></div>
  <div id="photo5" class="photo"></div>
  <div id="photo6" class="photo"></div>
</div>
```

本サンプル表示用 CSS

```
/* 表示領域 */
#stage {
  position: relative;
  width: 600px;
  height: 400px;
  background: #333;
  overflow: hidden;
}
/* スライド共通 */
.photo {
  position: absolute;
  left: 200px; top: 100px;
  border: #fff 2px solid;
}
/* 各スライドの animation 設定 */
#photo1 {
  -webkit-animation: slidepass 18s infinite;
  -webkit-animation-delay: -15s;
  animation: slidepass 18s infinite;
  animation-delay: -15s;
}
#photo2 {
  -webkit-animation: slidepass 18s infinite;
  -webkit-animation-delay: -12s;
  animation: slidepass 18s infinite;
  animation-delay: -12s;
}
#photo3 {
  -webkit-animation: slidepass 18s infinite;
  -webkit-animation-delay: -9s;
  animation: slidepass 18s infinite;
  animation-delay: -9s;
}
#photo4 {
  -webkit-animation: slidepass 18s infinite;
  -webkit-animation-delay: -6s;
  animation: slidepass 18s infinite;
  animation-delay: -6s;
}
#photo5 {
  -webkit-animation: slidepass 18s infinite;
  -webkit-animation-delay: -3s;
  animation: slidepass 18s infinite;
}
```

```

    animation-delay:3s;
  }
  #photo6 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:0s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:0s;
  }
  /* スライドの動きワンサイクル */
  @-webkit-keyframes slidepass {
    0% {-webkit-transform:perspective(750px) rotateY(0deg) translateZ(250px);z-index:20;}
    10% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(60deg) translateZ(250px);z-index:18;}
    16.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(60deg) translateZ(250px);z-index:18;}
    26.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(120deg) translateZ(250px);z-index:14;}
    33.3% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(120deg) translateZ(250px);z-index:14;}
    43.3% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(180deg) translateZ(250px);z-index:8;}
    50% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(180deg) translateZ(250px);z-index:8;}
    60% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(240deg) translateZ(250px);z-index:10;}
    66.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(240deg) translateZ(250px);z-index:10;}
    76.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(300deg) translateZ(250px);z-index:12;}
    83.4% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(300deg) translateZ(250px);z-index:12;}
    93.4% {-webkit-transform:perspective(750px) rotateY(360deg) translateZ(250px);z-index:16;}
    100% {-webkit-transform:perspective(750px) rotateY(360deg) translateZ(250px);z-index:16;}
  }
  @keyframes slidepass {
    0% {transform:perspective(750px) rotateY(0deg) translateZ(250px);z-index:20;}
    10% {transform:perspective(1000px) rotateY(60deg) translateZ(250px);z-index:18;}
    16.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(60deg) translateZ(250px);z-index:18;}
    26.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(120deg) translateZ(250px);z-index:14;}
    33.3% {transform:perspective(1000px) rotateY(120deg) translateZ(250px);z-index:14;}
    43.3% {transform:perspective(1000px) rotateY(180deg) translateZ(250px);z-index:8;}
    50% {transform:perspective(1000px) rotateY(180deg) translateZ(250px);z-index:8;}
    60% {transform:perspective(1000px) rotateY(240deg) translateZ(250px);z-index:10;}
    66.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(240deg) translateZ(250px);z-index:10;}
    76.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(300deg) translateZ(250px);z-index:12;}
    83.4% {transform:perspective(1000px) rotateY(300deg) translateZ(250px);z-index:12;}
    93.4% {transform:perspective(750px) rotateY(360deg) translateZ(250px);z-index:16;}
    100% {transform:perspective(750px) rotateY(360deg) translateZ(250px);z-index:16;}
  }
}

```



(3D-回転型スライドショーの画面)

3- 2 カバーフロー型スライドショー

インターネットで公開されている次のコードを利用する

本サンプル表示用HTML(赤字は Controller GMSK ver 06B Jun 2024 に用意されたマクロに書き換え)

```

<div id="stage">
  <div id="photo1" class="photo"></div>
  <div id="photo2" class="photo"></div>

```

```

<div id="photo3" class="photo"></div>
<div id="photo4" class="photo"></div>
<div id="photo5" class="photo"></div>
<div id="photo6" class="photo"></div>
</div>
本サンプル表示用 CSS
/* 表示領域 */
#stage {
    position:relative;
    width: 600px;
    height: 400px;
    background: #333;
    overflow:hidden;
}
/* スライド共通 */
.photo {
    position: absolute;
    left: 150px;top:50px;
    border:#fff 2px solid;
    z-index:-1;
}
/* 各スライドの animation 設定 */
#photo1 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:-9s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:-9s;
}
#photo2 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:-6s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:-6s;
}
#photo3 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:-3s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:-3s;
}
#photo4 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:-0s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:0s;
}
#photo5 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:3s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:3s;
}
#photo6 {
    -webkit-animation:slidepass 18s infinite;
    -webkit-animation-delay:6s;
    animation:slidepass 18s infinite;
    animation-delay:6s;
}
/* スライドの動きワンサイクル */
@-webkit-keyframes slidepass {
    0% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-300px);z-index:11;}
    10% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-240px);z-index:12;}
    16.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-240px);z-index:12;}
    26.7% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(-90deg) translateZ(-200px);z-index:13}
    33.3% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(-90deg) translateZ(-200px);z-index:13}
    43.3% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(0deg) translateZ(0px);z-index:14;}
    50% {-webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(0deg) translateZ(0px);z-index:14;}
}

```



```

60% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(90deg) translateZ(-200px);z-index:17;}
66.7% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(90deg) translateZ(-200px);z-index:17;}
76.7% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-240px);z-index:15;}
83.4% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-240px);z-index:15;}
93.7% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-300px);z-index:11;}
100% {webkit-transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-300px);z-index:11}
}
@keyframes slidepass {
0% {transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-300px);z-index:11;}
10% {transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-240px);z-index:12;}
16.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(-95deg) translateZ(-240px);z-index:12;}
26.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(-90deg) translateZ(-200px);z-index:13}
33.3% {transform:perspective(1000px) rotateY(-90deg) translateZ(-200px);z-index:13}
43.3% {transform:perspective(1000px) rotateY(0deg) translateZ(0px);z-index:14;}
50% {transform:perspective(1000px) rotateY(0deg) translateZ(0px);z-index:14;}
60% {transform:perspective(1000px) rotateY(90deg) translateZ(-200px);z-index:17;}
66.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(90deg) translateZ(-200px);z-index:17;}
76.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-240px);z-index:15;}
83.4% {transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-240px);z-index:15;}
93.7% {transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-300px);z-index:11;}
100% {transform:perspective(1000px) rotateY(95deg) translateZ(-300px);z-index:11}
}

```



(カバーフロー型スライドショーの画面)

3-3 サムネイル遠近移動型

インターネットで公開されている次のコードを利用する。

本サンプル表示用 HTML (赤文字は Controller GMSK ver 06B Jun 2024 に用意されたマクロに書き換え)

```

div id="stage">
  <div id="contnr">
    <ul>
      <li><a href="#p1"></a></li>
      <li><a href="#p2"></a></li>
      <li><a href="#p3"></a></li>
      <li><a href="#p4"></a></li>
      <li><a href="#p5"></a></li>
      <li><a href="#p6"></a></li>
      <li><a href="#p7"></a></li>
      <li><a href="#p8"></a></li>
      <li><a href="#p9"></a></li>
      <li><a href="#p10"></a></li>
    </ul>
  </div>
  <div id="p1" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p2" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p3" class="photo"><span class="cls"><a

```

```

href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p4" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p5" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p6" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p7" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p8" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p9" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p10" class="photo"><span class="cls"><a
href="#p11">? 閉じる</a></span></div>
  <div id="p11"></div>
</div>

```

本サンプル表示用 CSS

/* 表示枠 */

```

#stage {
    position:relative;
    width:600px;
    height:375px;
    margin:0 auto;
    overflow:hidden;
    background:#000;
}
#contnr ul {
    list-style:none;
}
/* サムネイルを初期には#stage 外に配置し animation をセットする */
#contnr ul li img {
    position:absolute;
    top:0px;
    left:600px;
    border:#F90 solid 2px;
    transform-origin:left top;
    -webkit-animation:slideTrans 10s linear infinite;
    animation:slideTrans 10s linear infinite;
}
/* #contnr の hover で animation を止める */
#contnr:hover ul li img {
    -webkit-animation-play-state:paused;
    animation-play-state:paused;
}
/* サムネイルクリックで拡大 */
#contnr ul li:hover img {
    width:200px;
}
/* 各サムネイルを 1 秒おきに animate させる */
#contnr ul li:nth-child(1) img {
    -webkit-animation-delay: -7s;
    animation-delay: -7s;
}
#contnr ul li:nth-child(2) img {
    -webkit-animation-delay: -6s;
    animation-delay: -6s;
}
#contnr ul li:nth-child(3) img {
    -webkit-animation-delay: -5s;
    animation-delay: -5s;
}
#contnr ul li:nth-child(4) img {
    -webkit-animation-delay: -4s;
    animation-delay: -4s;
}
#contnr ul li:nth-child(5) img {

```

```

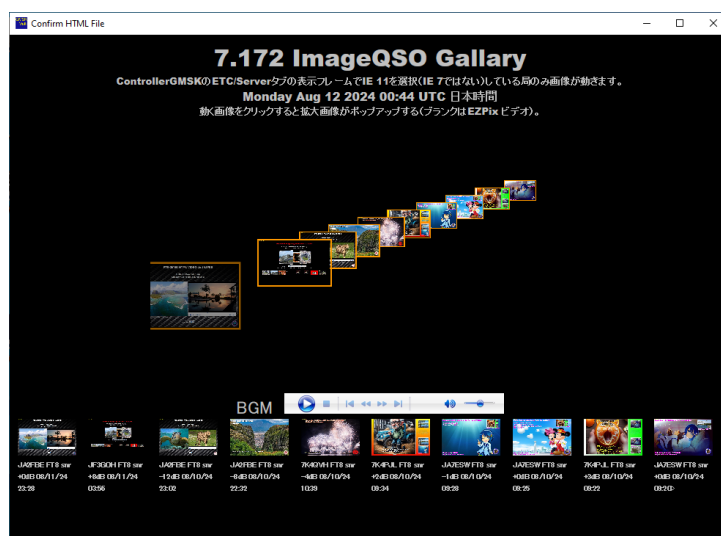
        -webkit-animation-delay: -3s;
        animation-delay: -3s;
    }
    #contnr ul li:nth-child(6) img {
        -webkit-animation-delay: -2s;
        animation-delay: -2s;
    }
    #contnr ul li:nth-child(7) img {
        -webkit-animation-delay: -1s;
        animation-delay: -1s;
    }
    #contnr ul li:nth-child(8) img {
        -webkit-animation-delay: 0s;
        animation-delay: 0s;
    }
    #contnr ul li:nth-child(9) img {
        -webkit-animation-delay: 1s;
        animation-delay: 1s;
    }
    #contnr ul li:nth-child(10) img {
        -webkit-animation-delay: 2s;
        animation-delay: 2s;
    }
    /* 拡大写真の配置と transition をセット */
    .photo {
        position:absolute;
        top:0;left:0;
        opacity:0;
        transition: opacity 1s ease;
    }
    /* クリックされたサムネイルに該当する拡大写真の不透明度を 1 に */
    .photo:target {
        z-index:100;
        opacity:1;
    }
    .cls {
        position:absolute;
        top:350px;
        left:500px;
    }
    .cls a {
        text-decoration:none;
        color:#fff;
        font-weight:bold;
    }
    @-webkit-keyframes slideTrans {
        0% { top:100px;left:500px;z-index:1;-webkit-transform:scale(0.5,0.5);}
        10% { top:110px;left:460px;z-index:2;-webkit-transform:scale(0.55,0.55);}
        20% { top:120px;left:420px;z-index:3;-webkit-transform:scale(0.6,0.6);}
        30% { top:130px;left:380px;z-index:4;-webkit-transform:scale(0.65,0.65);}
        40% { top:140px;left:340px;z-index:5;-webkit-transform:scale(0.7,0.7);}
        50% { top:150px;left:300px;z-index:6;-webkit-transform:scale(0.75,0.75);}
        60% { top:160px;left:260px;z-index:7;-webkit-transform:scale(0.8,0.8);}
        70% { top:170px;left:220px;z-index:8;-webkit-transform:scale(0.9,0.9);}
        80% { top:180px;left:180px;z-index:9;-webkit-transform:scale(1.0,1.0);}
        90% { top:190px;left:120px;z-index:10;-webkit-transform:scale(1.5,1.5);opacity:1;}
        100%{ top:250px;left:-140px;z-index:20;-webkit-transform:scale(2,2);opacity:0;}
    }
    @keyframes slideTrans {
        0% { top:80px;left:500px;z-index:1;transform:scale(0.5,0.5);}
        10% { top:90px;left:460px;z-index:2;transform:scale(0.55,0.55);}
        20% { top:100px;left:420px;z-index:3;transform:scale(0.6,0.6);}
        30% { top:110px;left:380px;z-index:4;transform:scale(0.65,0.65);}
        40% { top:120px;left:340px;z-index:5;transform:scale(0.7,0.7);}
        50% { top:130px;left:300px;z-index:6;transform:scale(0.75,0.75);}
        60% { top:140px;left:260px;z-index:7;transform:scale(0.8,0.8);}
        70% { top:150px;left:220px;z-index:8;transform:scale(0.9,0.9);}
        80% { top:160px;left:180px;z-index:9;transform:scale(1.0,1.0);}
    }

```

```

90% { top:170px;left:100px;z-index:10;transform:scale(1.5,1.5);opacity:1;}
100%{ top:230px;left:-180px;z-index:20;transform:scale(2,2);opacity:0;}
}

```



(サムネイル遠近移動型の画面)

Controller GMSK ver 06B Jun 2024 の HTML_Video タグ操作体験記がある URL
http://radioham.mydns.jp/imgqso/HTML_Video タグ操作体験.pdf

ビデオ処理に使った「VideoPad 動画編集」ソフト（無料体験版）が入手出来た URL
<https://www.nchsoftware.com/clipit/jp/download-now.html>

画像処理に使ったソフト「手軽に透明」が入手出来た URL
<https://www.officedaytime.com/toumei/>

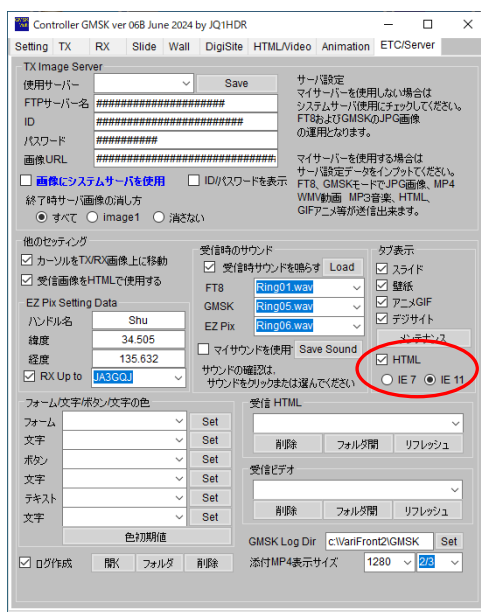
画像処理に使ったソフト「手軽に透明」が入手出来た URL
<https://www.officedaytime.com/kasane/>

気付いた事

- ・ HTML に埋め込むビデオファイルの容量は最大 20MB くらいまでが良い。
- ・ CSS や Javascript の知識不足を痛感した。
- ・ ロゴ用画像の透明化作業は根気が必要であるが老人向きである。
- ・ 「Controller GMSK ver 06B Jun 2024」 は多機能で今更ながら素晴らしいと思う。

利用できるマクロは私にとって大変有効である。

「Controller GMSK ver 06B Jun 2024」の「ETC/Server」タグの「タブ表示」フレームでウェブブラウザのバージョン E11（17 ページ図 11）が選択出来るようになったお陰で、今回製作体験した HTML テンプレートが受信側でも正常に動作する。



(図 11)

受信側で E11 (図 1 1) を選択しているときの受信画面は次のように正しく表示される。



受信側で E11 (図 1 1) を選択せず E5 を選択している場合は受信画面が次の図のように乱れてしまう。



August 14, 2024